

翌檜新聞

あすなろ

志寛 錬

第1号
2022.2.25
第76代
伊敷中生徒会

Team 伊敷

これまでの努力を発揮

公立入試行われる

3月3、4日に鹿児島県公立高校の入学試験が行われました。伊敷中の3年生



受検への意気込みを語る三年生

もそれぞれが志望する高校を受検しました。テレビの取材を受けた三年三組の諸岡暖大さんは、

「努力した結果を発揮したい。」と語り、受検に臨みま

した。受検に向けて、先輩方は

昼休みも教室で受験勉強をする姿も見られました。

三年生の勉強の様子を取材として感じたことは

学習に対する集中力が大事だということ

なりました。伊敷中を創り出したのは、生徒や先生方が伊敷中をよりよくしていきたいという

伊敷中を愛する気持ちをもっていったからだと思います。

これまでの伊敷中生が愛してきた伊敷中の良さを第76代翌檜新聞でも伝えていきたいと思っ

ています。そして、伊敷中の良さに気付き、「伊敷中LOVE」と思えるような人が増えていくことを

第76代翌檜新聞コンセプト

「LOVE伊敷」

幅広くなると思っています。このコンセプトは、伊敷中の良さを伝える活動や人を見つけたときには翌檜部員にお知らせください。

伊敷中を誇りに思える新聞

新聞コンクール受賞

第75代翌檜新聞は南日本新聞社主催の学校新聞コンクールで二席を受賞しました。みんなが伊敷中を誇りに思える新聞を目指して新聞作りの中心を担ってきた第75代広報部長武大叶さんの言葉です。

「今回、あすなる二席という結果を受けて、昨年三席だったので嬉しい気持ちと一席ではなかったという悔しい気持ちを抱きました。地域の行事や歴史を取り上げる、正門や西門、東門に



新聞コンクール表彰式の様子

FACE 一年生 体育班班長

毎朝、各専門班の班長が正門であいさつ運動をしています。今回のFACEは朝から気持ちのよいあいさつをしていた一年生体育班班長のみさくにインタビューしました。



- Q1 あいさつで心掛けていることは？
- A1 生徒のみなさんに元気を届けたいということを中心掛けています。
- Q2 よいあいさつをするための秘訣は？
- A1 あいさつ運動について、週番会でよかったことと改善点を話し合い、次の日に改善点を意識して行動するという気持ち全員がもつことです。
- Q3 あいさつ運動をしてみての感想は？
- A3 相手に気持ちよく一日を始められるし、自分たちもあいさつをすることでその日一日を元気づけてくれるので、次の週番でも気持ちのよい元気なあいさつをしたいです。

相手も自分も気持ちよくなるあいさつ。そういう元気のよいあいさつがふれる伊敷中にしていくからと思います。

今年もカイロ集めました！

今年も生徒会ではSDGsの取組の一つとしてカイロ回収を行いました。回収結果は4月号でお知らせします。

伊敷中の学校生活の中にはSDGsにつながる活動がたくさんあります。自分たちの活動は何のためにしているか、何につながるのかを振り返り、目的を知って活動していかれたらと思います。

生徒会の窓

連日、ロシアとウクライナに関するニュースが各メディアで報道されています。戦争をするとかくさんの人が苦しむ、悲しむことになりました。むことになりました。様々な理由があるかと思いますが、戦争の苦しみや悲しみを忘れてはいけない。一つの原因としてあげられるのではないかと思います。実際に戦争を体験し、苦しみや悲しみを知っている人たちが少なくなっています。そういう人たちの話を聴く機会も少なくなっています。戦争の悲しみを伝える人がいなくなってもその悲惨さをみんなが考えていく必要があると思います。

また、人の苦しみや悲しみを想像できないことも一つの原因にあるのではないかと思います。日常生活の中で、周りの人の気持ちを想像して行動すること。それをすることができれば、争いや戦いはなくなるはずだと思います。

戦争は「どこか遠いところ」で起こっていることではなく、今、私たちも考えていく必要があるのだと思います。

第76代 志に向かって活動します!

第76代生徒会役員の志を紹介いたします。

本部 一瞬懸命

生徒会長

田代 紅愛

生徒会副会長

新地 勇太

小畑 三佳子

上園 航平

書記

馬場 桐子

下入佐 椿華

会計

松田 大雅

また、一瞬一瞬に全力を出し、生徒会活動をしていきたいと思ひます。



生活部

部長 馬場口彩音

副部長 川路 翔也

細かいところまで注意が行き届くよう、日常生活の活動も緻密に仕事をします。各項目の違反者をゼロにしていきます。

緻密

細かいところまで注意が行き届くよう、日常生活の活動も緻密に仕事をします。各項目の違反者をゼロにしていきます。



庶務部

部長 山口 力丸

副部長 中村 璃海

どんな仕事でも一つ一つ丁寧に取り組みます。いざというときにいい活動ができるように準備万端で臨みます。



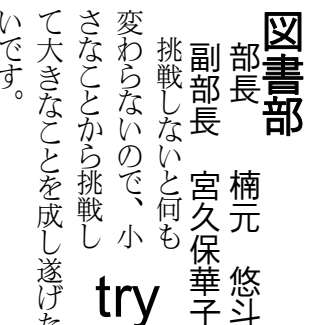
美化部

部長 刈田 葵

副部長 河村 花菜

学校を綺麗にすることで、伊敷中生の心もきれいにしていきたいです。

clean



図書部

部長 楠元 悠斗

副部長 宮久保華子

挑戦しない何もう変わらぬので、小さなことから挑戦して大きなことを成し遂げたいです。

try



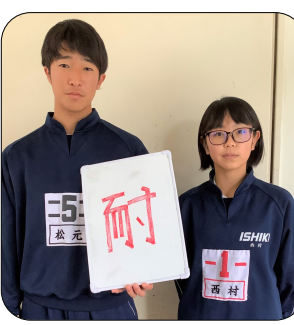
体育部

部長 松元 琉心

副部長 西村 小春

大変なこともあるかと思ひますが、忍耐力を発揮して、いい活動にしていきたいと思ひます。

耐



保健部

部長 永田 瑠歩

副部長 谷口 蓮

様々なことに挑戦し、今までの壁を越え、もっとよい活動にしていきたいです。

越



広報部

部長 芹ヶ野結性

副部長 南田 稔央

「いしきあい」や新聞コンsept「LOVE伊敷」。これからも学校愛をもって活動していきます。

愛



学習部

部長 脇田 萌羽

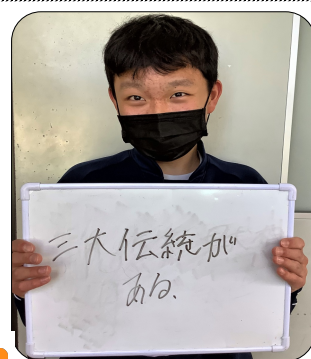
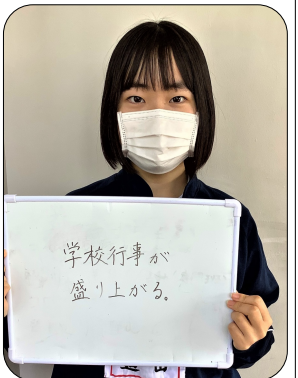
副部長 樋口 聡馬

仕事が大変になっても楽しんで乗り越えていきたいと思ひます。何事も笑顔で頑張っていきます。

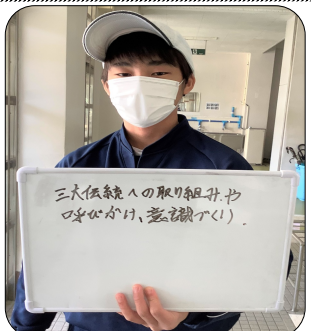
楽しむ



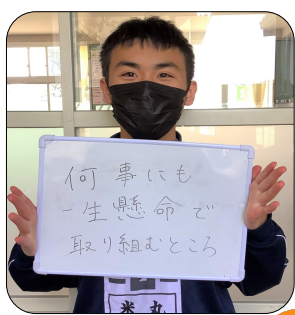
学校行事が盛り上がる



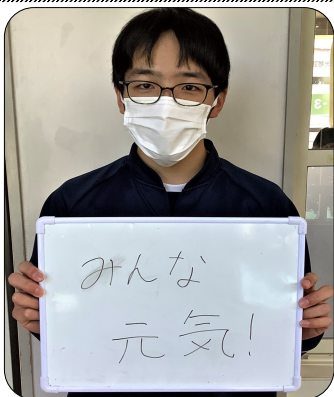
三大伝統がある



三大伝統の取組や呼びかけ、意識づくり

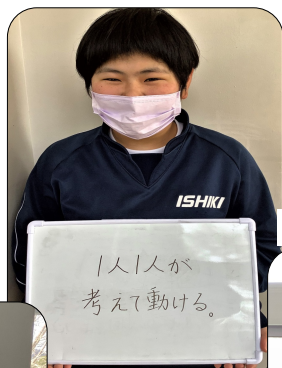


何事にも一生懸命に取り組む。

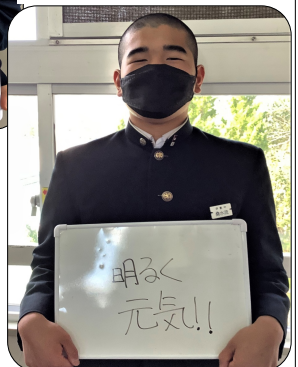


みんな元気!

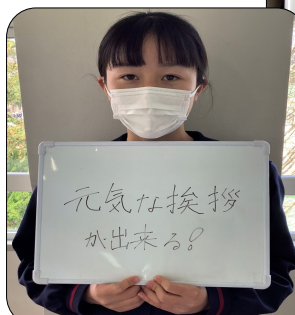
一人一人が考えて動ける



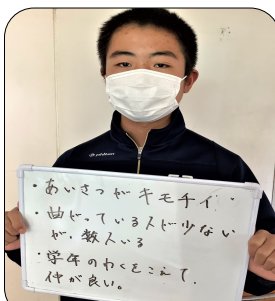
明るく元気!!



元気なあいさつができる



あいさつが気持ちいい



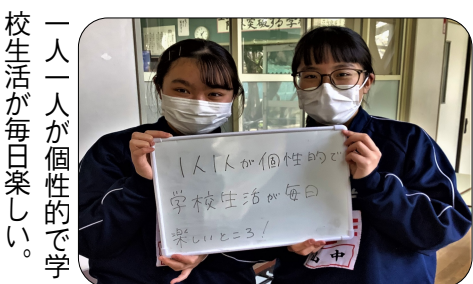
LOVE伊敷

いよいよ明日、卒業を迎える三年生。三年間伊敷中の伝統を守ってくれた先輩方に伊敷中の好きなところをインタビューしました。これからは私たち後輩が伊敷中の伝統を受け継ぎ、よりよい学校を創っていきます。

編集後記

第76代翌檜新聞第一号がやっと発行できました。第76代も皆さんに楽しんで読んでいただけるよう、魅力的な新聞を作っていきたいと思ひます。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。伊敷中卒業生としての誇りを胸にこれからも頑張ってください。(芹ヶ野結性)



一人一人が個性のある学校生活が毎日楽しい。